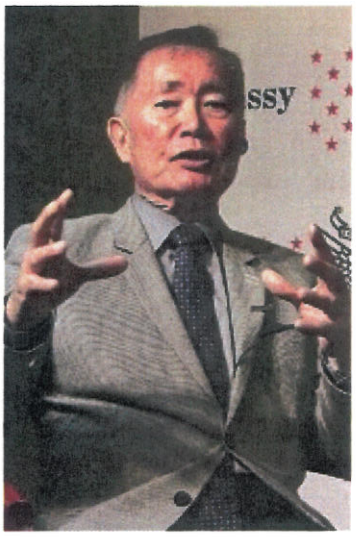
＊2014年６月７日付毎日新聞朝刊４面「ひと」欄に掲載された日系米国人俳優ジョージ・タケイの記事を、同新聞社の許可を得て転載したものです。

毎日新聞

ひと:ジョージ・タケイさん＝性的少数者の差別撤廃を訴える

毎日新聞　2014年06月07日　東京朝刊

◇ジョージ・タケイ（Ｇｅｏｒｇｅ　Ｔａｋｅｉ）さん（７７）



ジョージ・タケイさん

ハリウッドで最も成功した日系米国人俳優の一人といわれる。アジア系がスクリーンに登場することが珍しかった６０年代、米国のＳＦテレビドラマ「スタートレック」シリーズの宇宙船操縦士役で、有名になった。２３世紀、人々の夢を乗せた宇宙船は人種や性別による差別のない世界だった。

だが、実生活では少数派として二つの偏見と向き合ってきた。４歳の時に太平洋戦争が開戦。一家は日系人の強制収容所に送られ、３年間、鉄条網の中で暮らした。

２００５年には同性愛者であることを公にする。「仕事を失うのが怖くてゲイを告白できずにいた」が、カリフォルニア州のシュワルツェネッガー知事（当時）が同性婚法案に拒否権を行使したことで決意。「二つの顔を持っていたが、緊張から解放されて自由になった」と語る。０８年に長年交際していた男性と結婚を果たし、性的少数者（ＬＧＢＴ）差別の撤廃を訴える活動に精を出す。

ソーシャルメディアを活用し、人権問題について幅広く発言する。ユーモアのある写真を交えたフェイスブックには７００万人以上、ツイッターも１００万人を超す人々が登録するほどだ。

毎年６月が、米国でＬＧＢＴの権利を守り平等を進める月間に定められていることから、米政府の派遣で来日。沖縄や東京で講演し「人と違うことを恥じてはならない」と訴えた。逆境を乗り越えた力強い人生は、スクリーンの外でも夢と勇気をもたらしている。<文と写真・長野宏美>

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

■人物略歴

俳優。人権活動家。ロサンゼルス生まれの日系３世。カリフォルニア大ロサンゼルス校大学院で演劇学修士号取得。

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。
Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.